

スイートピーの栽培終期における摘心がその後の生育・収量に及ぼす影響

○中村 薫・福元孝一（宮崎総農試）

Growth and yeild of Sweet pea after the pinching at the end period of cultivation.

NAKAMURA, K. and K. FUKUMOTO

【目的】 宮崎県は国内においてスイートピーの代表的な産地であり、その収穫期間は11月から3月までである。収穫期間終期の3月は生育に適した気候であるため開花が早く進み、切り花本数が増加する。しかし、草勢が低下しやすいため、切り花長が短くなるなど品質が低下しやすい。栽培期間の終わりに摘心を行うことでその後の切り花収量等、品質や生育への影響を調査した。

【材料及び方法】 品種は‘ステラ’を用いた。種子は催芽後2℃4週間の種子冷蔵を行った後、2006年9月10日に直まきした。9月24日に摘心し、腋芽を1本に整理した。栽植様式は、畝幅135cm、条間20cm、株間12cmの2条植えとした。誘引方法はネット誘引とした。施肥は基肥としてN、P₂O₅、K₂Oを10aあたり各10kg施用し、液肥を適宜施用した。栽培施設はP0系フィルム被覆ハウスで、昼温20℃、夜温5℃を目標に管理した。試験区は、肉眼で確認できる最小の節を摘心した摘心区と無処理区を2007年3月1日に設けた。1区5株の2反復とし、3月31日で調査終了した。

【結果および考察】 摘心によって腋芽の萌芽状況は大きな差は認められず、誘引およびまきひげ・腋芽の除去作業にも差は無かった。摘心後の切り花品質について第1表に示した。摘心区においてわずかに花径が大きく、有意差が認められたが、出荷規格の基準となるステム長（第1小花までの花梗長）や開花数に有意な差はなかった。切り花本数や出荷本数については第2表に示すように有意差はなかった。また、最上位規格の4P2L本数についても有意差はなかった。

さらに摘心による小葉の葉面積や葉の乾物重への影響を調査した（第1表）。最終節における葉面積は摘心区が大きい傾向であったが（データ略）、摘心後の全体の葉面積に有意差はなかった。しかし乾物重は摘心区が有意に重かった。第1図に示すように葉面積と乾物重は正の相関を示し、葉面積に対する乾物重の割合は摘心区は無処理区に対し大きい傾向が認められた。また、葉面積と花梗長の関係では、既に報告があるように（並河1974、井上1989）葉面積と花梗長は正の相関を示したが、区による差は小さかった（データ略）。

以上の結果より、栽培終期における摘心は切り花収量や葉面積には影響を及ぼさないこと、見かけの品質面では小花の花径がやや大きくなるものの収益に影響を及ぼす程度ではないこと、さらに小葉の乾物重は増加することが明らかになった。乾物重が摘心区で増加したことは摘心により生長点がなくなったこと、さらに腋芽は誘引作業により除去してしまうためシンク部位が少なくなったためと考えられた。

第1表 スイートピーの栽培終期の摘心がその後の切り花品質および葉に及ぼす影響

	花梗長 (cm)	ステム長 ^z (cm)	花梗径 (mm)	花径 (mm)	着蕾数 (個)	開花数 (個)	1葉あたり葉面積 ^y (cm ²)	1葉あたり乾物重 ^x (g)
無処理区	39.7 ± 5 ^w	30.9 ± 4.6	3.89 ± 0.26	55.03 ± 5.55	4 ± 0	4 ± 1	59.30 ± 15.35	0.460 ± 0.136
摘心区	40.1 ± 6.5	30.3 ± 4.4	3.93 ± 0.36	57.15 ± 4.20	4 ± 1	4 ± 1	64.18 ± 14.64	0.795 ± 0.220
有意性 ^v	n.s.	n.s.	n.s.	*	n.s.	n.s.	n.s.	**

^z 第1小花までの花梗の長さ

^y 複葉のうち1枚の葉面積

^x 複葉のうち1枚の乾物重

^w 平均値±標準偏差

^v 一元配置分散分析によりn.s.:有意差なし, *:5%水準で有意差あり, **:1%水準で有意差あり

第2表 スイートピーの栽培終期の摘心がその後の株あたり切り花本数に及ぼす影響

試験区	切り花本数 ^z (本)	切り花本数中に占める本数		
		4P2L ^y (本)	3PM ^x 以上 (本)	出荷本数 ^w (本)
無処理区	7	1	7	7
摘心区	7	1	7	7
有意性 ^v	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

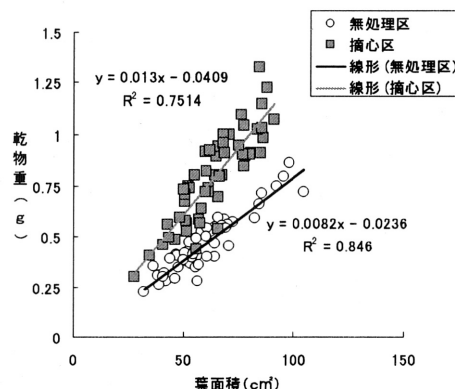
^z 得られた切花の本数

^y 第1小花までの花梗長が35cm以上で小花が4輪以上の切花

^x 第1小花までの花梗長が25cm以上で小花が3輪以上の切花

^w 第1小花までの花梗長が20cm以上で小花が3輪以上の切花

^v 一元配置分散分析によりn.s.:有意差なし



第1図 スイートピー栽培終期における摘心が葉面積と乾物重の関係におよぼす影響